

# 大人の 社会見学

鹿屋の地で育まれた  
名品・名産・名所などの  
よかもんをご紹介します

## 瀬戸山神社の春祭



瀬戸山神社  
上祓川町



ナゲター  
上祓川町棒踊り伝承保存会会長  
久保勇さん



祓川地区に春を告げる伝統行事「瀬戸山神社の春祭」。この祭りは、五穀豊穡、厄病退散を願って毎年3月下旬に行われています。今回は「上祓川町棒踊り伝承保存会」会長の久保勇さんにご案内いただきました。

「祭り当日、正午が近付くと、上祓川・中祓川（祓川）・下祓川・西祓川の4つの棒踊り保存会が、瀬戸山神社前の街道に続々と集結し、棒踊りを奉納するのが、瀬戸山神社の春祭です。

特徴は何度も繰り返し踊り



地域住民が見守る中で  
勇壮な舞が繰り上げられる

似ています。いつの時代に祓川に棒踊りが伝わったのか不明ですが、『鹿屋市史』によると、明治15年頃、テンポの早い踊りに変えたとあります。戦時中、一時途絶えましたが、昭和22年に復活し、現在に至ります。

「祭り当日、正午が近付くと、上祓川・中祓川（祓川）・下祓川（西含む）の3つに分かれて、それぞれ、まず鳥居前で踊り、鳥居を過ぎて境内につながる階段で再び踊ります。更に83段の階段を登った後に境内でも踊ります。その後、休憩をはさみ、近くの瀬戸山公園に移動して、次は全保存会が一緒になって踊る『踊り別れ』を披露。その後、それぞれ鳥居前で踊って解散となりますが、この後も自分たちの町内の民家を練り歩きながら踊りが奉納されるのです。

保存会ごとに服装や踊り方に若干の違いがありますが、大体が奉納されること。上・中・下（西含む）の3つに分かれて、それぞれ、まず鳥居前で踊り、鳥居を過ぎて境内につながる階段で再び踊ります。更に83段の階段を登った後に境内でも踊ります。その後、休憩をはさみ、近くの瀬戸山公園に移動して、次は全保存会が一緒になって踊る『踊り別れ』を披露。その後、それぞれ鳥居前で踊って解散となりますが、この後も自分たちの町内の民家を練り歩きながら踊りが奉納されるのです。

似ています。いつの時代に祓川に棒踊りが伝わったのか不明ですが、『鹿屋市史』によると、明治15年頃、テンポの早い踊りに変えたとあります。戦時中、一時途絶えましたが、昭和22年に復活し、現在に至ります。

人口が多かった昔は青年団が踊っており、上手な人だけが踊れました。踊るのは若者としての誇りで、選ばれるために一生懸命練習したものです。現在は小・中学生が中心ですが、子どもたちの郷土愛と伝統文化の継承につながっており、頼もしく思います。人口減少は今後ますます懸念されていますが、地元に残るこの伝統文化をずっと守っていききたいと思っています。

今年の春祭は3月25日（日）に行われます。年によっては、満開の桜の下での舞が見られます。ぜひ多くの皆さんにも見に来てもらいたいですね」